

No.	分類	品目名		単位	数量			適用品目 数量割合 (④=(①/③))	平成26年度 目標値⑤	目標達成率 ④/⑤	備考	
		(品目分類)	(品目名)		適用品目①	類似品目②	合計③ (=①+②)					
1	資材	盛土材等	建設汚泥から再生した処理土	m ³	272,068	0	272,068	100.0%	100.0%	100.0%	※1	
2			土工用水砕スラグ	m ³	12,127		12,127					
3			銅スラグを用いたケーソン中詰め材	m ³	22,327		22,327					
4		地盤改良材	フェロニッケルスラグを用いたケーソン中詰め材	m ³	33,139	0	33,139	100.0%	100.0%	100.0%	※1	
5			地盤改良用製鋼スラグ	m ³	649	0	649	100.0%	100.0%			
6			高炉スラグ骨材	m ³	9,730		9,730					
7		コンクリート用スラグ骨材	フェロニッケルスラグ骨材	m ³	3,334	20	29,994	99.9%	100.0%	99.9%	※1	
8			銅スラグ骨材	m ³	16,911		16,911					
9			電気炉酸化スラグ骨材	m ³	0		0					
10		アスファルト混合物	再生加熱アスファルト混合物	t	1,863,423		1,863,423					
11			鉄鋼スラグ混入アスファルト混合物	t	2,206	11,092	1,916,873	99.4%	100.0%	99.4%	※1	
12			中温化アスファルト混合物	t	40,152		40,152					
13		路盤材	鉄鋼スラグ混入路盤材	m ³	35,121	18,827	2,386,924	99.2%	100.0%	99.2%	※1	
14			再生骨材等	m ³	2,332,976		2,332,976					
15		小径丸太材	間伐材	m ³	13,728		13,728					※2
16	高炉セメント		t	430,851	5,260	625,005	99.2%	100.0%	99.2%	※1		
17	混合セメント	フライアッシュセメント	t	188,894		188,894						
18		生コンクリート(高炉)	m ³	3,166,364	57,692	3,262,751	98.2%	100.0%	98.2%	※1		
19		生コンクリート(フライアッシュ)	m ³	38,695		38,695						
20	セメント	エコセメント	個	144,465		144,465					※2	
21	コンクリート及びコンクリート製品	透水性コンクリート	m ³	675		675					※2 ※3	
22		透水性コンクリート2次製品	個	54,530		54,530					※2 ※3	
23		鉄鋼スラグ水和固化体	kg	14,465,582	102,529	14,568,111	99.3%	100.0%	99.3%			
24	吹付けコンクリート	フライアッシュを用いた吹付けコンクリート	m ³	85,790	2,888	88,678	96.7%	100.0%	96.7%			
25		下塗用塗料(重防食)	kg	654,126	25,106	679,232	96.3%	100.0%	96.3%			
26	塗料	低揮発性有機溶剤型の路面表示用水性塗料	m ²	4,720,415	1,638	4,722,052	100.0%	100.0%	100.0%			
27		高日射反射率塗料	m ²	2,711	0	2,711	100.0%	100.0%	100.0%			
28	防水	高日射反射率防水	m ²	3,012	0	3,012	100.0%	100.0%	100.0%			
29		再生材料を用いた舗装用ブロック(焼成)	m ²	116	0	116	100.0%	100.0%	100.0%			
30	舗装材	再生材料を用いた舗装用ブロック(プレキャスト無筋コンクリート製品)	m ²	1,060	0	1,060	100.0%	100.0%	100.0%			
31	園芸資材	パークたい肥	kg	5,965,282	133,256	6,133,282	97.8%	100.0%	97.8%	※1		
32		下水汚泥を用いた汚泥発酵肥料(下水汚泥コンポスト)	kg	34,744		34,744						
33	道路照明	環境配慮型道路照明	個	5,302	25	5,327	99.5%	100.0%	99.5%			
34	中央分離帯ブロック	再生プラスチック製中央分離帯ブロック	個	13,561	27	13,588	99.8%	100.0%	99.8%			
35	タイル	陶磁器質タイル	m ²	14,763	33	14,796	99.8%	100.0%	99.8%			
36	建具	断熱サッシ・ドア	工事数	11		11					※2	
37		製材	m ³	262		262					※2	
38	製材等	集成材	m ³	380		380					※2	
39		合板	m ²	111,592		111,592					※2	
40		合板	m ³	357		357					※2	
41		単板積層材	m ³	0		0					※2	
42	フローリング	フローリング	m ²	2,332	0	2,332	100.0%	100.0%	100.0%			
43	再生木質ボード	パーティクルボード	m ²	890	0	890	100.0%	100.0%	100.0%			
44		繊維板	m ²	16,128	0	16,128	100.0%	100.0%	100.0%			
45		木質系セメント板	m ²	1,119	0	1,119	100.0%	100.0%	100.0%			
46	ビニル系床材	ビニル系床材	m ²	39,281	1	39,282	100.0%	100.0%	100.0%			
47	断熱材	断熱材	工事数	498		498					※2	
48	照明機器	照明制御システム	工事数	149	0	149	100.0%	100.0%	100.0%			
49	変圧器	変圧器	台	129	0	129	100.0%	100.0%	100.0%			
50		吸収冷温水機	台	15	0	15	100.0%	100.0%	100.0%			
51	空調用機器	水蓄熱式空調機器	台	0	0	0						
52		ガスエンジンヒートポンプ式空調機	台	16	0	16	100.0%	100.0%	100.0%			
53		送風機	台	273	0	273	100.0%	100.0%	100.0%			
54		ポンプ	台	352	0	352	100.0%	100.0%	100.0%			
55	配管材	排水・通気用再生硬質ポリ塩化ビニル管	m	58,102	1,141	59,243	98.1%	100.0%	98.1%	※5		
56		工事数	36	2	38	94.7%	100.0%	94.7%	※5			
57	衛生器具	自動水栓	工事数	45	0	45	100.0%	100.0%	100.0%			
58		自動洗浄装置及びその組み込み小便器	工事数	30	0	30	100.0%	100.0%	100.0%			
59		洋風便器	工事数	52	0	52	100.0%	100.0%	100.0%			
60	コンクリート用型枠	再生材料を使用した型枠	工事数	1,337		1,337					※2	
61	建設機械	排出ガス対策型建設機械	機種	44,048	477	44,525	98.9%	100.0%	98.9%			
62			工事数	7,132	209	7,341	97.2%	100.0%	97.2%	※4		
63		低騒音型建設機械	機種	21,293	215	21,508	99.0%	100.0%	99.0%			
64			工事数	4,449	113	4,562	97.5%	100.0%	97.5%	※4		
65	建設発生土有効利用工法	低品質土有効利用工法	工事数	77	3	80	96.3%					
66	建設汚泥再生処理工法	建設汚泥再生処理工法	工事数	12	1	13	92.3%					
67	コンクリート塊再生処理工法	コンクリート塊再生処理工法	工事数	51	4	55	92.7%					
68	舗装(表層)	路上表層再生工法	工事数	12		12					※2	
69			m ²	14,794		14,794					※2	
70	舗装(路盤)	路上再生路盤工法	工事数	10		10					※2	
71			m ²	8,569		8,569					※2	
72	法面緑化工法	伐採材又は建設発生土を活用した法面緑化工法	工事数	38		38					※2	
73			m ²	155,199		155,199					※2	
74	山留め工法	泥土低減型ソイルセメント柱列壁工法	工事数	2		2					※2	
75	目的物	舗装	排水性舗装	工事数	2,914		2,914					※2
76			m ²	1,879,709		1,879,709					※2	
77			透水性舗装	工事数	4,735		4,735					※2
78			m ²	204,555		204,555					※2	
79			屋上緑化	工事数	4		4					※2
80	m ²	459		459						※2		

注) 公共工事で使用する資材や建設機械については、
 ○事業毎の特性、必要とされる強度や特性、機能の確保、コスト等に留意する必要があること。
 ○事業の目的、工作物の用途、施工上の難易により資材等の使用形態に差異があること。
 ○調達可能な地域や数量が限られている資材等があること。
 等の事情があるため、使用可能な範囲において調達が行われている。

- ※1 類似品目が共通しているものは、該当する適用品目全体の数量割合を算出している。
- ※2 間伐材、エコセメント、透水性コンクリート、透水性コンクリート2次製品、断熱サッシ・ドア、製材、集成材、合板、単板積層材、断熱材、再生材料を使用した型枠、路上表層再生工法、路上再生路盤工法、伐採材又は建設発生土を活用した法面緑化工法、泥土低減型ソイルセメント柱列壁工法、排水性舗装、透水性舗装、屋上緑化の適用品目数量割合は、類似品目の特定が困難なため、今回は算出しない。
- ※3 基本方針に定める品目名「透水性コンクリート」は、透水性コンクリートと透水性コンクリート2次製品に分けて計上している。
- ※4 建設機械については、適用品目数量を工事数及び機種数で計上している。
- ※5 排水・通気用再生硬質ポリ塩化ビニル管については、数量をm数又は工事数で計上している。